

T4練習機墜落の原因究明と再発防止にかかわる申し入れ報告

5月14日、小牧基地を飛び立った航空自衛隊新田原基地所属のT4練習機が、離陸直後小牧市にある入鹿池に墜落し、乗っていた自衛隊員2名が死亡するという事故が起きました。墜落事故を受けて、不戦ネットでは、5月16日以下のような申し入れを小牧基地司令に提出しました。

申し入れにもあるように、197機保有しているうち、約60機は事故原因の究明に不可欠なフライトレコーダーなどが搭載されていないということです。小牧市・豊山町・春日井市・名古屋市に隣接する航空自衛隊小牧基地は、「墜落現場周辺は、米軍普天間(ふてんま)飛行場(沖縄県)以上に市街地が広く、「飛行に気をを使う地域」と説明。」(元空将で麗沢大の織田邦男特別教授・中日新聞特報記事より)とあるように離陸も着陸も市街地の上空を飛行します。今回は、入鹿池に墜落で他の被害は出ませんが、まかり間違えば大惨事になった可能性もあります。



事故の機体のエンジンなど主要部分はまだ引き上げられておらず、事故原因も明らかになっていない中で、航空自衛隊は、「点検で異常がないことが確認された機体から飛行を再開させる」として、6月13日から飛行を再開しました。T4練習機はブルーインパルスの飛行も行っており、大阪万博でも展示飛行がされました。

隊員2名の命が失われたにもかかわらず、事故原因の解明もされないままの飛行再開はあってはならないと思います。

T4練習機墜落の原因究明と再発防止にかかわる申し入れ書

小牧基地指令・鮫島建一様

私達は平和で安全な地域社会を目指す活動をおこなっている市民団体です。そうした目的から小牧基地に申し入れをします。5月14日午後3時10分ごろ航空自衛隊のT4練習機が犬山市の入鹿池に墜落しました。15日夕の段階では搭乗されていた2名の隊員の安否確認ができていないということです。絶望的な状況ではありますがご無事を祈るばかりです。

航空機の墜落事故は大きな被害を生みます。入鹿池では釣り客もおり周辺にはレジャー施設があり住宅地もあります。また農業用水のため池でありこれから田植えなどの農作業を迎え水が必要とされます。水質汚染は地域農業に多大な悪影響をあたえます。オイルなどの流出防止に十分な処置をとってください。

何より事故原因究明と再発防止がなされなければなりません。報道によるとフライトレコーダーやボイスレコーダーが搭載されておらず事故原因が究明しにくい状態であるとされています。新聞によると古い機体であり、順次搭載をしているとのことですが、事故原因を究明し、もって安全策を考えるというのが普通のことでないでしょうか。そのようにして事故をなくし、隊員の命を守るというのが一番大事なことです。フライトレコーダーなどが無いなどは、いざという時にそなえた事故究明の意識がない、または人命軽視とさえ思えます。もっと隊員への安全配慮にお金を使ってください。言うまでもなく事故を防ぐためには十分な点検と余裕をもった体制が必要です。

いまの自衛隊を見ていると次々と新しい兵器が導入され、演習・訓練に追まわられているようにみえます。有事には前線に立て緊張もいられています。修理点検工場の三菱重工にしても多くの事業をかかえており、フル活動です。好調と言われる軍事産業ですが、作業員の方は大きな負担を担わされているのではないのでしょうか。まだ事故原因はわかりませんが、点検作業員や操縦者の勤務状況に無理がなかったかの点検をしてください。

隊員の生命と地域の安全、信頼のため徹底した原因究明をおこなってください。それまでは当然のことですがT4機は使用しないでください。同型機を使ったブルーインパルスの飛行も停止してください。入鹿池からオイルなど流出しないよう万全の処置をとってください。なにより隊員お二人の安否確認に全力をつくしてください。

以上申し入れます。

2025年5月16日